



## 平成30年度の主な事業について

### 1 これまでの主な事業

#### (1) 東大I O Gによる共同研究成果報告会を開催

日 時：平成30年7月19日（木）

会 場：秋田市役所 正庁

報告者：東京大学高齢社会総合研究機構

特任講師 後藤 純 氏

テーマ ア 高齢者コミュニティ活動創出・支援事業  
と高齢社会対応のコミュニティ政策  
イ エイジフレンドリーシティの成果と今後の課題

参加者：101名（市役所職員・市議会議員・地域における支え合いづくりに関わる市民など）



#### (2) I F A（国際高齢者団体連盟）第14回高齢化国際会議へ出席

8月8日（水）～10日（金）にカナダ・トロントで開催された「I F A第14回高齢化国際会議」において、「秋田市におけるエイジフレンドリーシティの取り組み」と題して、ペーパーセッション（口頭発表）を行った。

高齢者コインバス事業、シニア映画祭など、行政による取組やエイジフレンドリーパートナーによる民間事業者の取組、そして地域での新たな支え合い活動や「あきた年の差フレンズ部」など、市民による取組を紹介し、これまでエイジフレンドリーシティに取り組んできた成果についてアピールした。



#### (3) エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業

ア 筑波大学「みんなの使いやすさラボ」との共同研究

豊かな超高齢社会を目指し、地域の高齢者・企業・大学の協働により、モノの使いやすさ力を高める活動を行っている「みんなの使いやすさラボ（つくば型リビング・ラボ）」と、7月に3週間にわたって共同研究を行った。

## 【内容】

高齢者が新しい機器を使用する際に、操作方法について情報交流を図ることができ、若者がいる場合、その交流により機器利用の学習が促進されるかについて、高齢者コミュニティ活動創出・支援事業で立ち上げた「あきた年の差フレンズ部」の部員を対象として検証を行った。

### イ ユーザビリティテスト体験会の開催

「みんなの使いやすさラボ」の協力のもと、パートナーをはじめとする市内事業者を対象に、ユーザーである市民の視点を活かした製品やサービスづくりについて学ぶ機会としてユーザビリティテスト体験会を開催した。

日 時：平成30年7月28日（土）15時～17時

会 場：秋田市役所2階 食堂

進 行：筑波大学「みんなの使いやすさラボ」代表 原田 悦子氏

参加者：11名（定員15名）



## (4) エイジフレンドリーシティ普及啓発事業

### ア うちわ作製

昨年度に引き続き、エイジフレンドリー竿燈と連動して周知効果を高めるため、エイジフレンドリーパートナーの広告入りうちわを5,000本作製。広告の掲載を希望する事業者を募集し、申し込みを頂いた44社の事業者名を掲載した。

### 【主な配布先】

- 幅広く市民に使用していただくために、以下のイベントや施設等で配布
- ・シニア映画祭（7月分）
  - ・1230コンサート（7月11日・8月8日）
  - ・土崎港曳山祭り（7月20日・21日）期間中、土崎みなと歴史伝承館や北部市民サービスセンター等へ配付
  - ・そのほか、パートナー事業者への配布、市役所の総合案内や各窓口に設置



### イ シニア映画祭の開催

7月および10月の毎週火曜日（第5週を除く）の午前、午後の2回開催（計16回）。チケット料金は、コインバス資格証明書提示の方および障がい者手帳（65歳以上の秋田市民）提示の方は500円、その他の方は800円とした。

また、今年度は、上映前の待ち時間を利用した10分間のミニ講座を開催し、保

健師による口腔ケアに関する講座や、エイジフレンドリーパートナーによる熱中症予防対策講座等を行った。

7月	上映作品	10月	上映作品
3日	HACHI 約束の犬	2日	鉄道員 (ぽっぽや)
10日	超高速！参勤交代リターンズ	9日	あん
17日	最高の人生の見つけ方	16日	キューポラのある街
24日	人生フルーツ	23日	エンディングノート

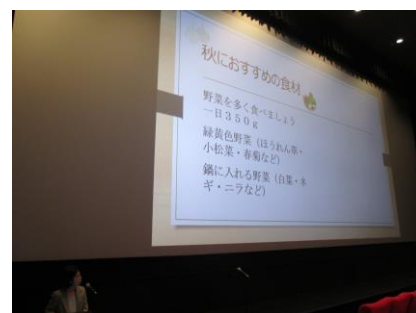
〈上映前のミニ講座の様子〉



保健師による口腔ケア講座  
(7月3日・17日)



大塚製薬(株)による熱中症予防  
対策講座 (7月10日・24日)



食 navi ステーションによる食  
に関するミニ講座 (10月2日)

### 【アンケート結果から】

来場者の3割以上がバスを利用しており、コインバスの利用促進につながっている。また、今年度から開始したミニ講座についても概ね好評であり、特に大塚製薬(株)による熱中症予防対策講座は、タイムリーな話題であり、大変参考になったとの声を頂いた。

上映作品についても「人生フルーツ」といったドキュメンタリー映画を上映することで、日常を丁寧に暮らすことの大切さについて考えさせられ、とても上質な映画だったとの声も頂いた。

### ウ SNS (ソーシャルネットワークサービス) によるPR

#### (ア) 秋田市エイジフレンドリーシティ Facebook の立ち上げ

開設日：平成30年6月29日

主な掲載情報：

秋田市の取組やイベント情報、エイジフレンドリーパートナーの取組情報 等



#### (イ) 秋田市エイジフレンドリーシティ Twitter の立ち上げ

開設日：平成30年7月17日

主な掲載情報：フェイスブックに同じ

(5) その他

ア あきた年の差フレンズ部が 2018 年度グッドデザイン賞を受賞

現在、幅広い世代の部員 35 名がイベントを企画したり、交流会を開催したりと様々な活動を実施中。

年の差がある人たちがフラットな友人として出会い後輩である若い世代は、未知の経験やライフステージで打ち当たる悩みを先輩である高齢者に相談し、一方、先輩は、新しいことに挑戦する気持ちや、若い気持ちを後輩から受け取っている。

このような相手と出会える機会はなかなかないのが現実であり、この活動は、「年の差のある友達を作るのが楽しいし素敵だ」ということを率直に伝える強さと、運動として楽しく広がる気軽さがある点が審査員に評価された。

※グッドデザイン賞：日本で唯一の総合的デザイン評価・推奨の仕組みで、デザインによって私たちの暮らしや社会をよりよくしていくための活動。



## 2 今後の予定

### (1) エイジフレンドリーシティカレッジの開催

日時 平成30年11月2日(金) 19時～20時半  
会場 中央市民サービスセンター 洋室4 (託児あり)  
講師 BABAlab 代表 桑原 静 氏  
演題 「100歳になっても私らしく地域で輝く」



### (2) 冊子「暮らしに役立つサービス」の発行

平成31年2月末に20,000部(昨年度25,000部)発行予定

### (3) 秋田市エイジフレンドリーパートナー研修会の開催

専門家による講演会のほか、パートナーの取組の事例発表や意見交換などにより、パートナー同士の交流を図る機会とする。  
年内に開催予定。

### (4) 地区別ワークショップの開催(資料3のとおり)

### (5) 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画庁内推進会議の開催

(4)の地区別ワークショップの進捗状況を踏まえた上で、庁内において連携して取り組むべき課題等について引き続き検討を行う。

### (6) エイジフレンドリーシティ通信の全戸配付

平成31年3月に138,500部配付予定